

令和8年度バドミントンインターハイ県予選（個人戦） 競技上の注意事項

- ① すべての試合において、得点は15点で行います。14点オール以後は2点先取、上限21点です。
すべての試合において次の試合まで15分を空けます。
- ② 各試合のシャトルは1個、本部からの支給とします。後は各校の相対で補給をお願いします。
シャトルの温度番号は「3番」です。
各試合に際し、各校から線審を1名同行させてください。
- ③ 各試合前の練習時間は個人戦では行いません。各自で事前に準備運動、ウォーミングアップを行い、ケガをしないように注意してください。
- ④ 試合（マッチ）中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、自分のバッグに入れてください。
- ⑤ 審判は各コートの1試合目は本部からの指定で行います。本部のコールをよく確認してください。
2試合目以降からは前試合の敗者が主審、サービスジャッジ兼得点表示となります。
ルールのおぼつかない1年生が審判をすることのないようにお願いします。
ベスト8に残った学校は、敗退した場合でも審判があるので最後まで帰らずに待機しててください。

サービスジャッジは、ポストにコート面から1.15m高さのところにマークがありますので、そのマークを基準にコート面から1.15m高さのところに水平面をイメージし、判定してください。

- スコアボードは本部から運ばれますので敗者校はそのままコートに残り、搬入を待ってください。
- ⑥ 線審はアウトのコール、シグナルをきちんと行ってください。必ず大会出場者もしくは、ルール理解者が審判を行うようにしてください。
 - ⑦ 応援は着席のうえ拍手、手拍子、声援、掛け声のみとし、応援歌は禁止とする。また、ベンチ付近での立ち上がったの声援は行わないでください。
 - ⑧ インターバル中、競技区域付近でのアドバイスは、監督・コーチなど同時に2名までです。
 - ⑨ 本大会は、2026年度 日本バドミントン協会競技規則に準じて進行します。
サービスのフォルトはゲーム開始当初からとってください。
以下のルール改正に伴い、以下はフォルトとなります。
・バドミントン競技規則第9条第1項（1）サーバーとレシーバーがそれぞれ態勢を整えた後は、両サイドともサービスを不当に遅らせてはならない。（ラケットを左右に何度も動かしている場合やレシーバーが準備ができていないことを示すために手を挙げている場合に、主審は遅延と判断した際にフォルトをコールすることができる。
・バドミントン競技規則 第9条 サービス 第1項（5）サーバーは、スピン（回転）を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。
 - ⑩ ゲーム内、8点の際の60秒のインターバルを主審は必ずコールし、プレイヤーも確認してください。ゲーム間は120秒です。両者とも残り20秒でコートインをお願いします。
ストップウォッチを必ず使用してください。遅れた場合はフォルトとなります。
 - ⑪ 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、個人戦では当該選手に限ります。必要な場合はレフェリーを呼んでください。